

付属資料3：欧州先進国

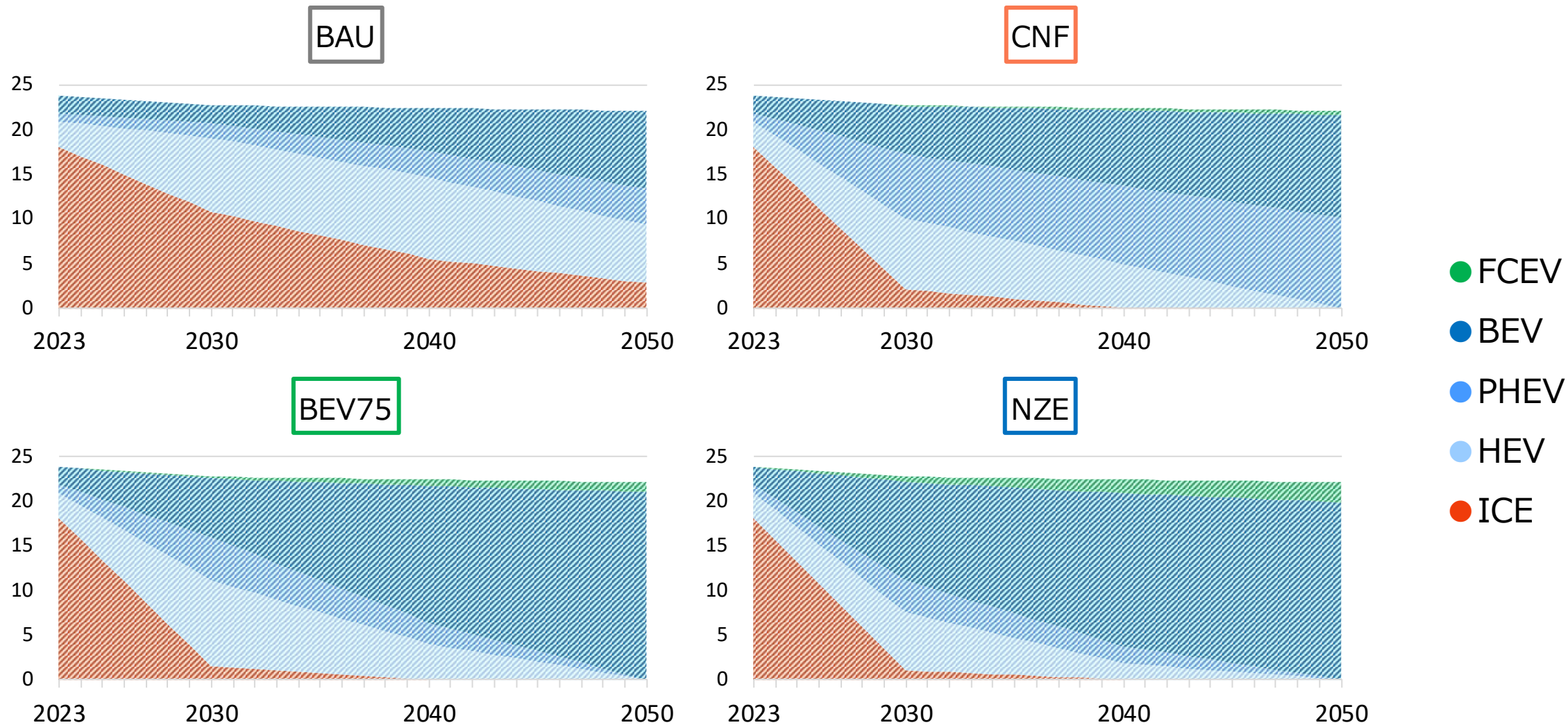
欧州先進国の特徴@2050年

シナリオ名	特徴		2020年比CO ₂ 排出量
全シナリオ共通	市場動向	四輪の新車販売台数は緩やかに減少、保有台数は緩やかに増加、二輪は新車販売・保有台数ともに緩やかに減少	
	電源構成	多様なクリーンエネルギーの増加 + CCS により脱炭素化	
CNF	電動車の普及	- 新車販売構成は乗用車で46%がPHEVとなることを含め、電動化シェアが四輪でほぼ100%、二輪で80% - 保有構成はBEV・FCEVシェアが四輪で47%、二輪で73%	97%減
	燃料構成	- CN燃料(合成燃料・バイオ燃料) + 電力 + 水素でほぼ100% - CN燃料は2023年時点の液体燃料の21%	
BEV75	電動車の普及	- 新車販売構成は四輪でBEV・FCEV シェアが100%、二輪で88% - 保有構成はBEV・FCEV シェアが四輪で79%、二輪で80%	98%減
	燃料構成	- CN燃料 + 電力 + 水素でほぼ100% - CN燃料は2023年時点の液体燃料の16%	
NZE	電動車の普及	- 新車販売構成は全車種でBEV・FCEVシェアが100% - 保有構成はBEV・FCEVシェアが四輪88%、二輪で100%	93%減
	燃料構成	- バイオ燃料 + 電力 + 水素で87% (合成燃料は0想定) - バイオ燃料は2023年時点の液体燃料の3%	

CO₂排出量はいずれの想定シナリオも、ほぼCNに近い水準となる

欧州先進国の新車販売構成（乗用車）

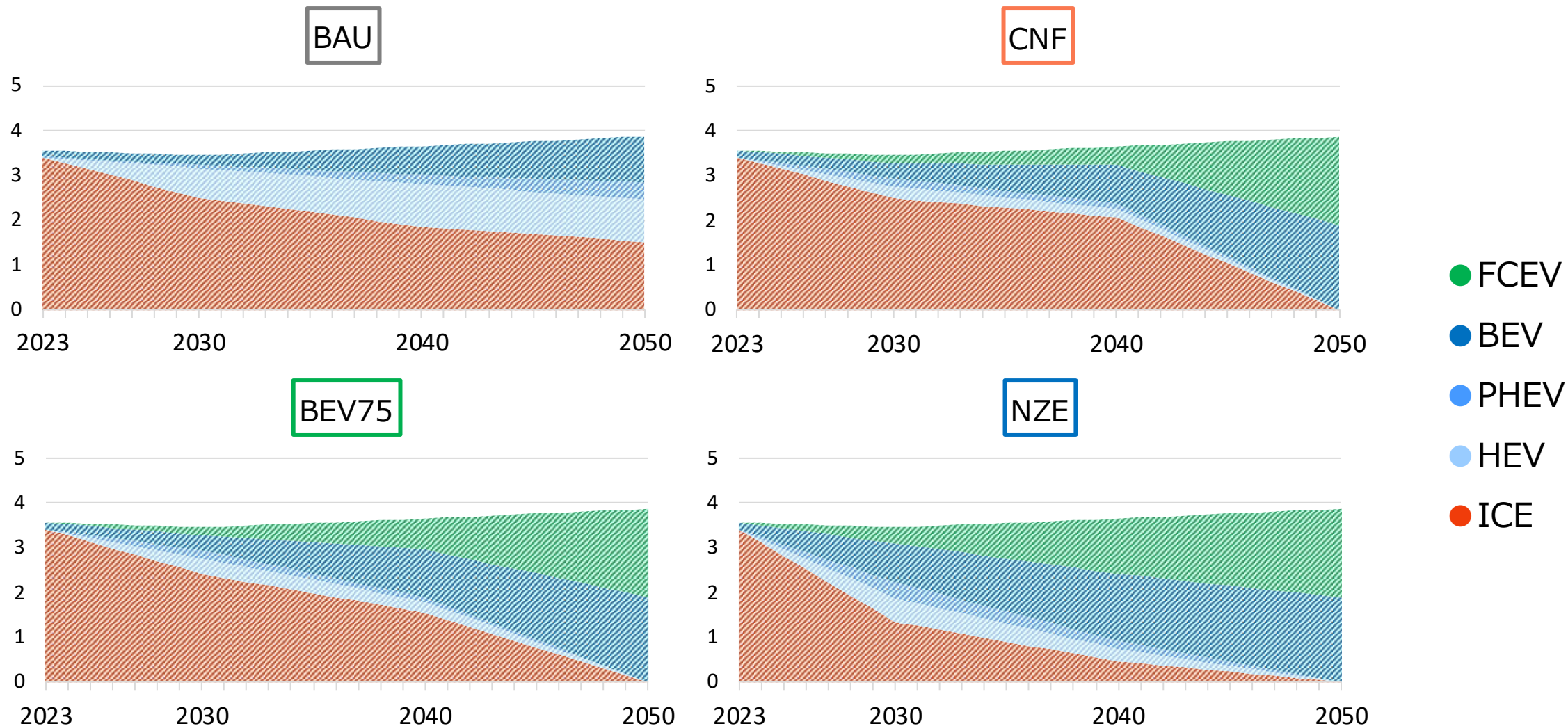
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC推計、将来値は新車販売台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

欧州先進国の新車販売構成（トラック・バス）

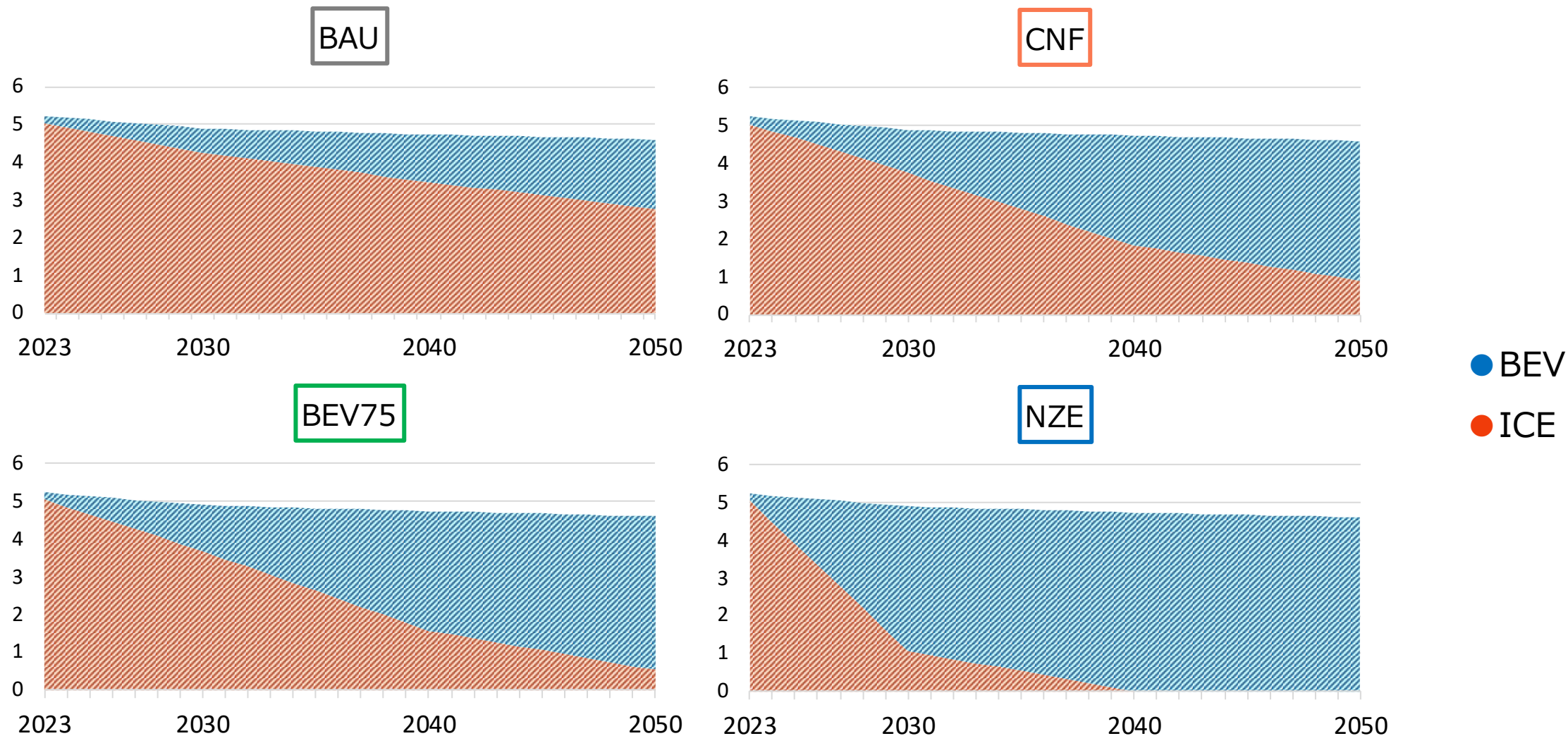
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC推計、将来値は新車販売台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

欧州先進国の新車販売構成（二輪車）

（単位：百万台）



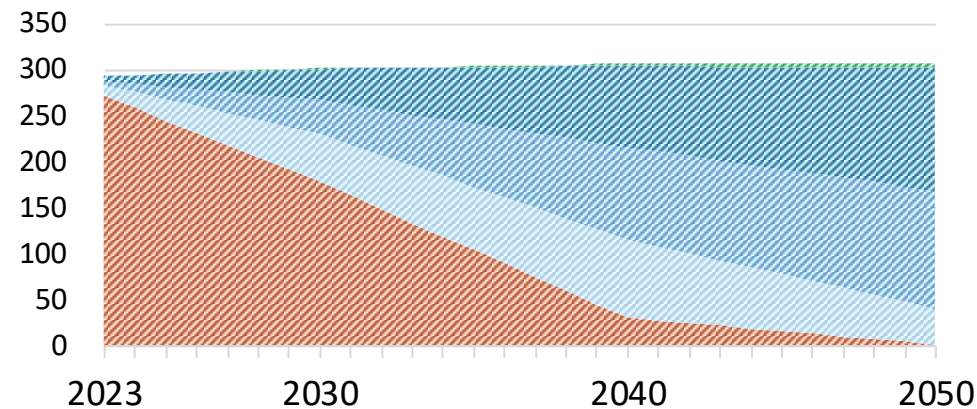
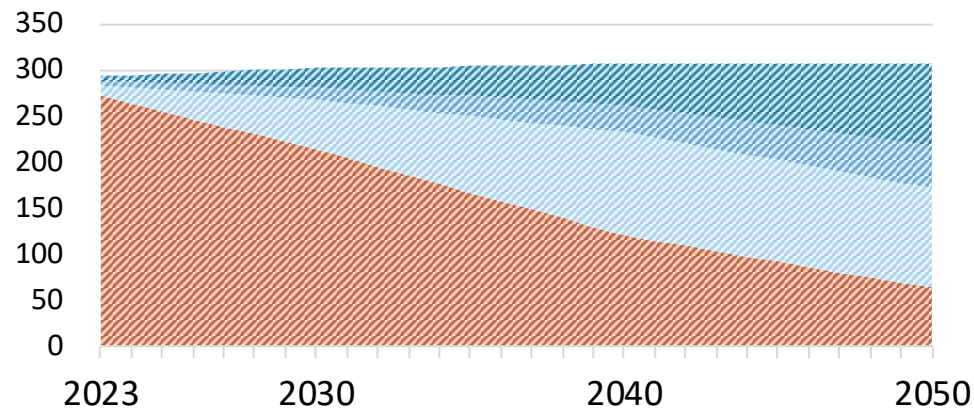
* 実績値はEDMC推計、将来値は新車販売台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

欧州先進国の保有構成（乗用車）

（単位：百万台）

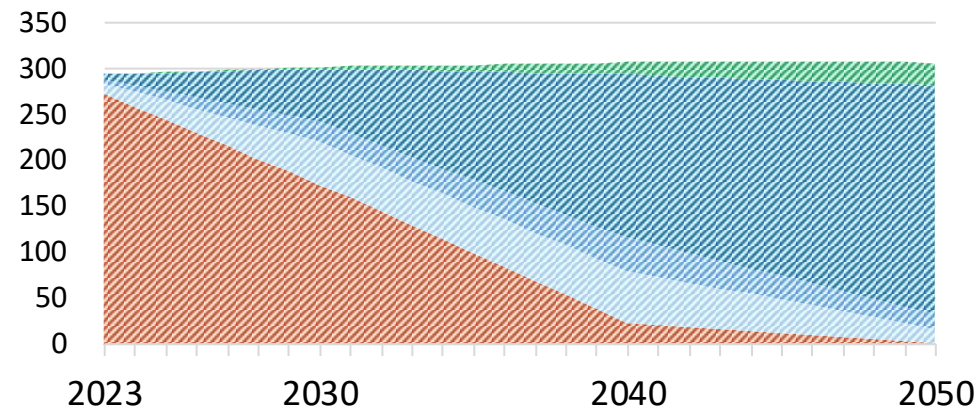
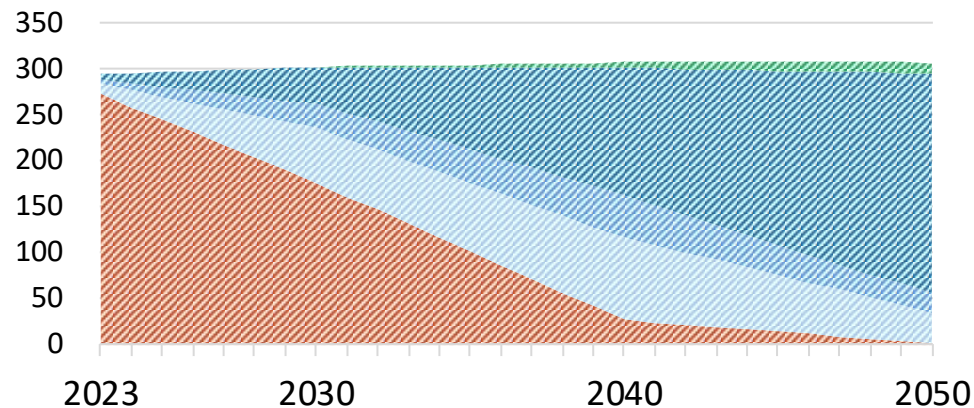
BAU

CNF



BEV75

NZE

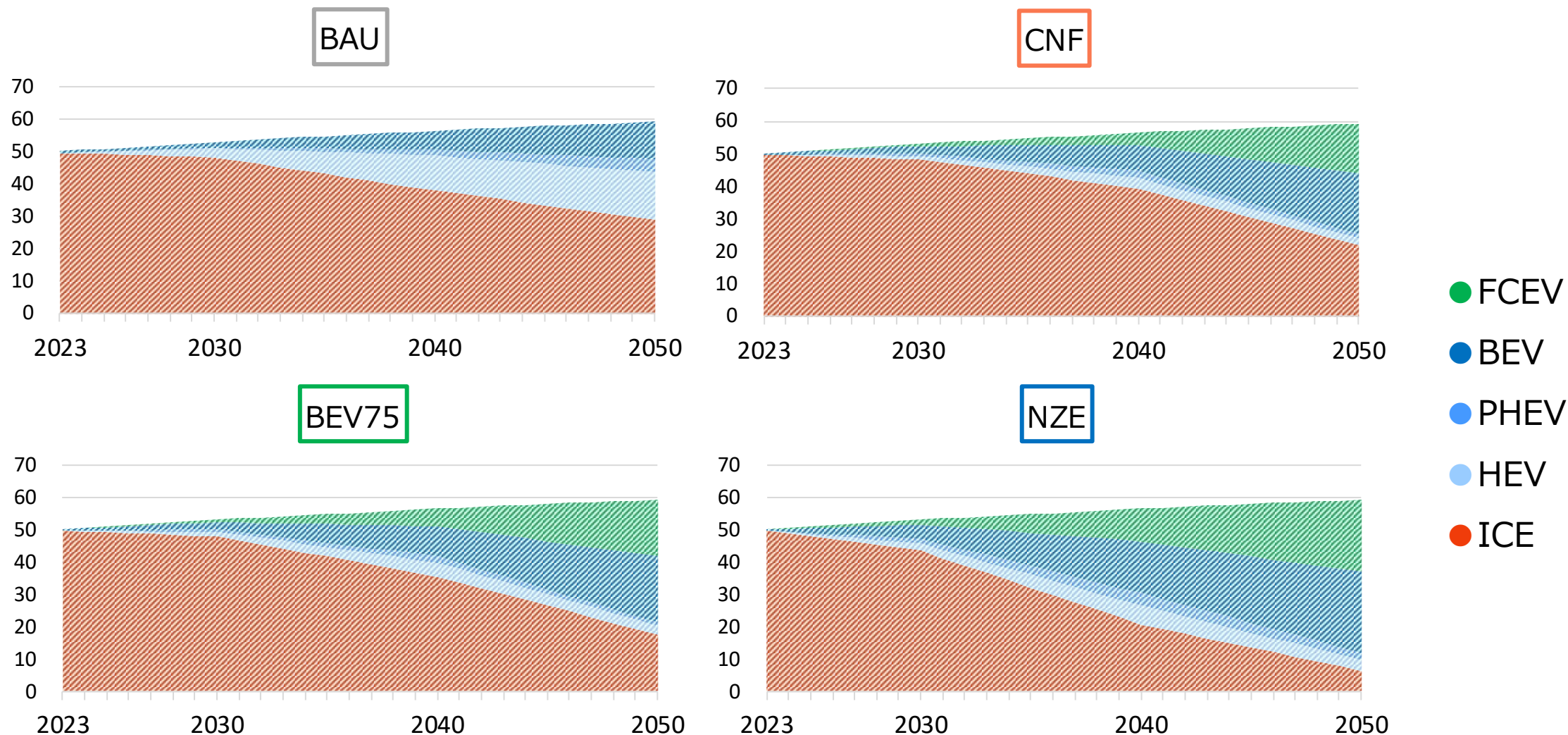


- FCEV
- BEV
- PHEV
- HEV
- ICE

* 実績値はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2026年版を参照（前回分析(2022年版)はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2022年版を参照）
将来値は、保有台数の合計は[「IEEJ Outlook 2026」\(2025年発表\)](#)、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基に推計

欧州先進国の保有構成（トラック・バス）

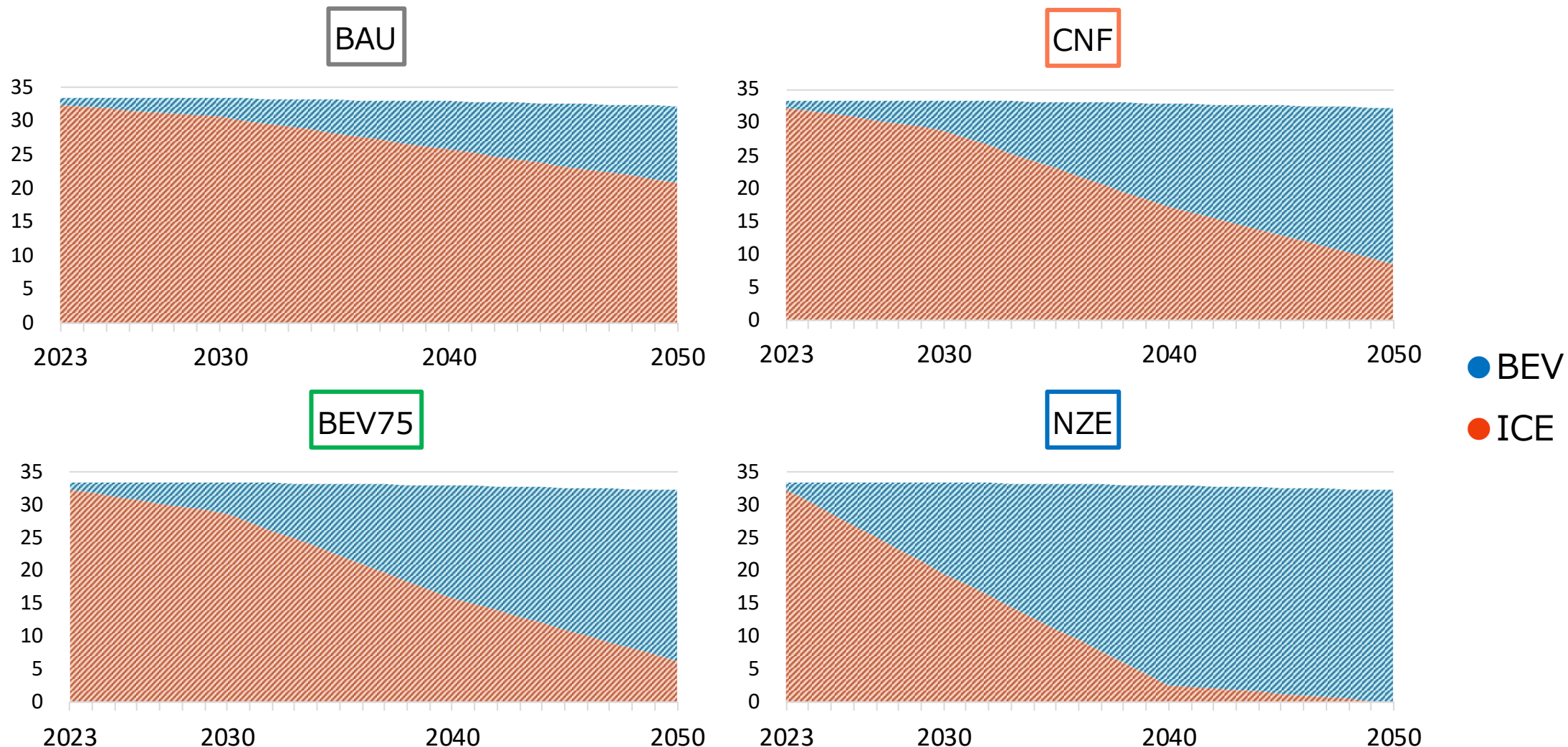
（単位：百万台）



* 実績値はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2026年版を参照（前回分析(2022年版)はEDMC/エネルギー・経済統計要覧2022年版を参照）
将来値は、保有台数の合計は「[IEEJ Outlook 2026】\(2025年発表\)](#)」、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基に推計

欧州先進国の保有構成（二輪車）

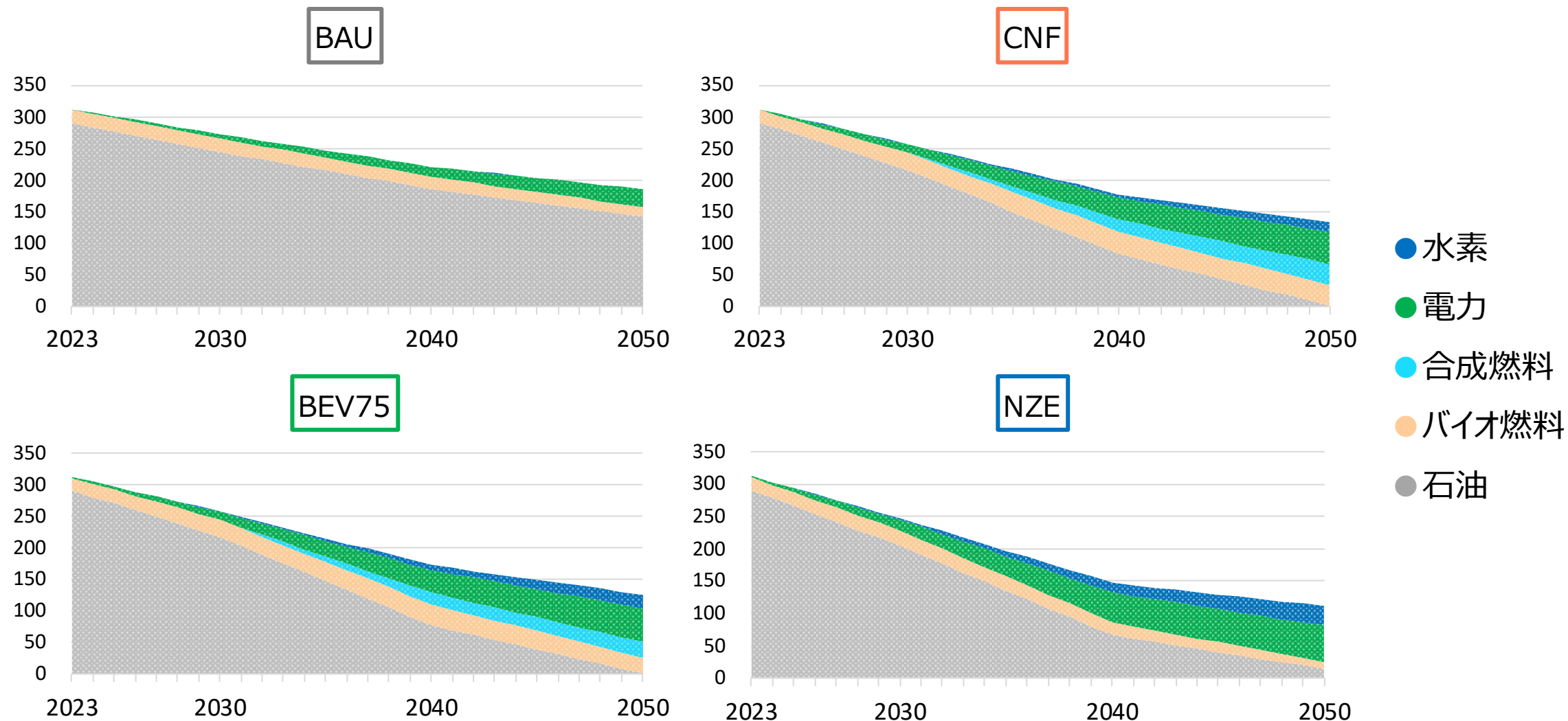
（単位：百万台）



* 実績値は[The IRF World Road Statistics](#)および各国統計等よりEDMC推計、将来値は保有台数の合計はEDMC推計、パワートレインの構成は自工会のシナリオを基にEDMC推計

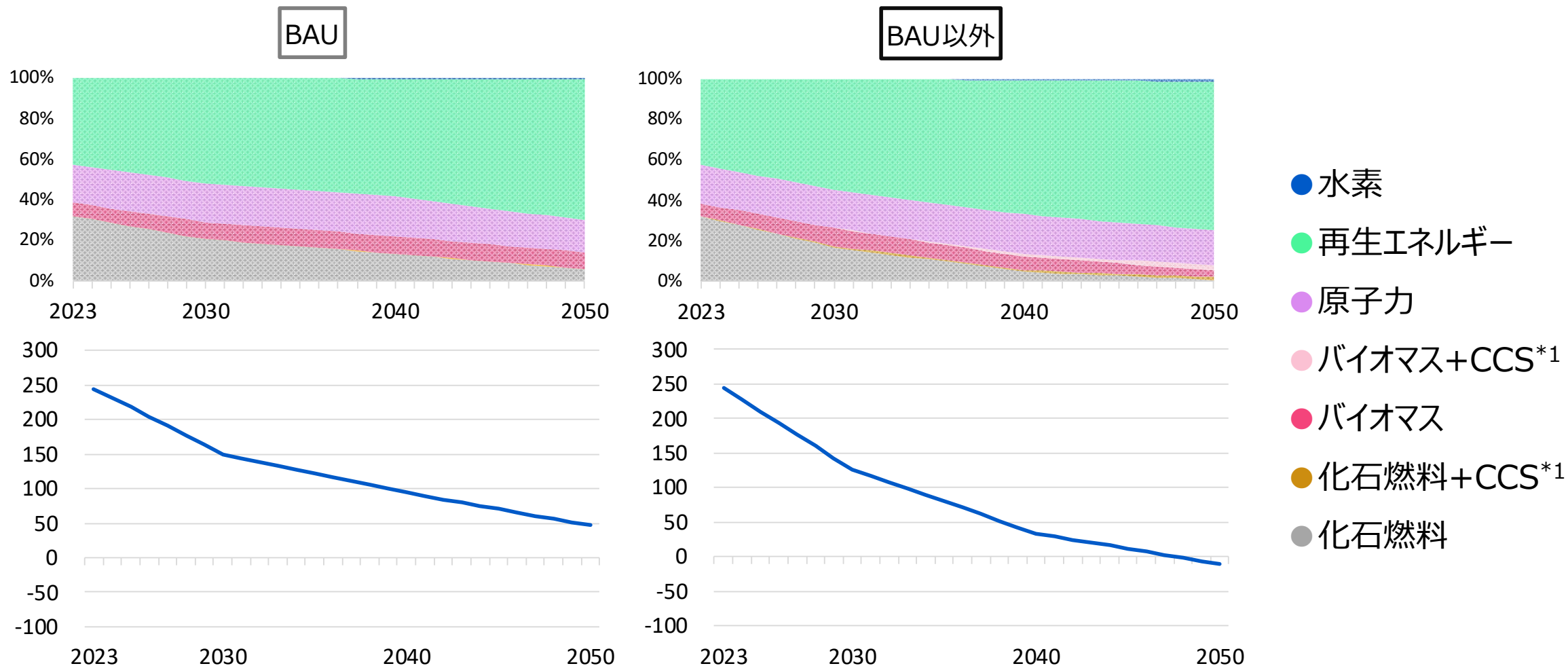
欧州先進国の燃料構成（合計）

（単位：Mtoe）



* 実績値はEDMC推計、将来値は自工会のシナリオを基にEDMC推計

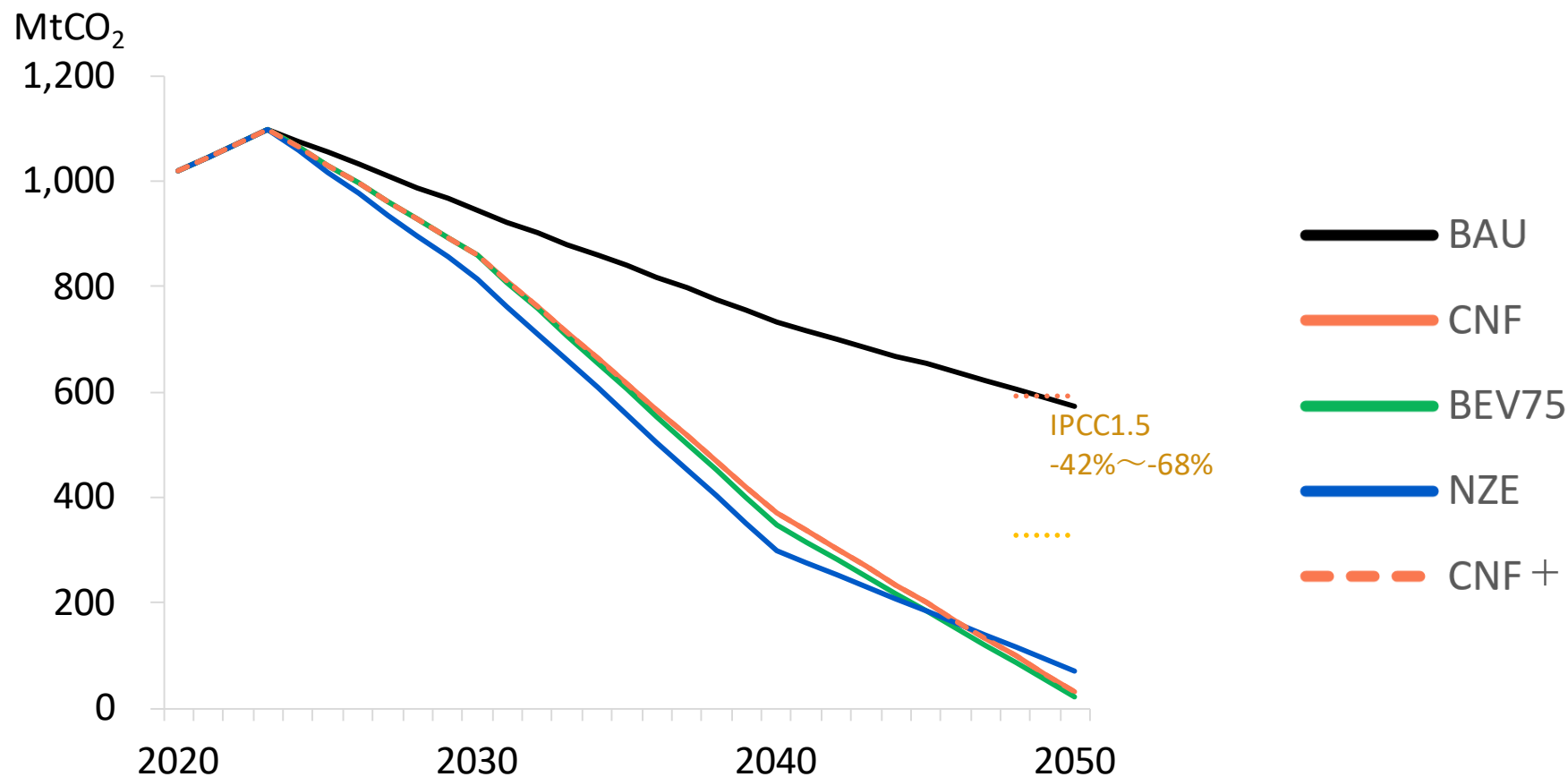
欧州先進国の電源構成



* 実績値は[IEA World Energy Balances](#)、将来値は「[IEEJ Outlook 2026](#)」(2025年発表)を基に推計

*1 CCS(Carbon Capture and Storage)は、発電所や工場等から排出されるCO2を回収し、地中等へ貯留することでCO2排出量削減に活用する技術

欧州先進国のCO₂排出量



* 「IPCC1.5 -42%~-68%」は、IPCC 第3作業部会-第6次評価報告書 Chapter10で示された、世界の気温上昇を1.5℃以内または限られた超過に抑えるシナリオにおいて、世界の運輸部門のCO₂排出量が、2050年には2020年比で概ね42~68%減少するシナリオ(4分位範囲)のこと。この範囲内もしくは下回っている場合は、IPCC1.5℃目標に整合的と判断できる水準と言える

* CNFとCNF+の分析結果は同値であるため、グラフ上では両線が重なって表示されている

CO₂排出量はいずれの想定シナリオも、ほぼCNに近い水準となる